

第3学年 社会科学習指導案

第3学年1組34名

第3学年2組34名

第3学年3組34名

1 単元名

豊島区や人びとのくらしのうつり変わり(14時間扱い)

2 単元の目標

- ・豊島区の人々の生活の様子は、時間の経過に伴い、移り変わってきたことを理解できるとともに、地図などの資料で調べたり、タブレットで調べたりして年表やポスターなどにまとめることができる。(知識及び技能)
- ・交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、豊島区や人々の生活の様子を捉え、それらの変化を考え、表現することができる。(思考力、判断力、表現力等)
- ・豊島区の様子の移り変わりについて、学習問題などの解決に向けて、意欲的に追究しようとする。(学びに向かう力、人間性等)

3 単元について

(1) 児童観

本学年の児童は、学習活動に対して前向きに取り組む児童が多い。社会科の学習においても、興味や関心をもって取り組む児童が多く、スーパーマーケット見学や警察署のゲストティーチャーの学習では熱心にメモを取ったり質問をしたりする姿が見られた。1学期に学習した「豊島区の様子」では、土地利用、交通、公共施設、古くから残る建造物等の視点で区の特徴について調べ、全体の対話によって学びを深めてきた。「店ではたらく人びとの仕事」の学習では学んできたことをポスターにまとめる活動を行った。本単元でも、全ての児童が様々な視点を関連付けながら、区や人々のくらしの様子の移り変わりについて考え、表現できるようにしていきたい。

また、外国語活動の授業においては表情やジェスチャーを工夫しながら、外国語を用いて挨拶や自己紹介をしたり、尋ねたり答えたりする活動に慣れ親しんできた。様々なものに対して興味・関心が高い一方、自分の伝えたいことを表現することに課題が残る児童がいる。自分の思いを他者に分かりやすく伝えるためには、「店ではたらく人びとの仕事」の時にまとめたポスター以外にも、スライドや新聞等で伝える方法があることを指導する。その上で、どの方法で分かりやすく伝えられるのか考えさせて選ばせていきたい。

(2) 単元観

本単元は、交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具等の時期による違いに着目して、豊島区や人々の生活の様子の変化を捉え、現在の豊島区の様子と比較することで、豊島区の移り変わりについて理解することを目指す。小学校学習指導要領 社会(4)イには、「交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、市や人々の生活の様子を捉え、その変化を考え、表現すること。」とある。児童がタブレットで調べ、郷土資料館で見学をしたり、関係機関が作成した資料などで調べたりして、年表などにまとめる活動を通して、豊島区の今後の発展について考えるだけでなく、表現できるようにしていく。

本時では、学習のまとめとして、調べて分かったことを留学生に英語で紹介する活動を設定する。追究の段

階から、留学生に伝えることを見通し、外国語活動で学んだやり取りやジェスチャーを活用して、どのようにしたら相手（留学生）に伝えることができるかを考えられるようにする。

4 研究主題に迫るための手だて

(1) シチュエーションを意識した授業の工夫

「豊島区や人びとのくらしのうつり変わり」の学習の中で、外国人の人口が増えてきたことなどから、まとめの表現活動として、「留学生に豊島区の魅力を伝える」というシチュエーションを設定する。単元末の表現活動を意識し、「留学生に豊島区について紹介したい。」という思いをもって追究を進められるようにする。本単元の学習内容の他にも、前期には豊島区の名所や歴史的な建造物についても学習してきたため、その内容も生かし、グループごとに紹介したいことを決められるようにする。留学生に豊島区の魅力が伝わるように、自分たちが一番伝えたいことを明確にする工夫が必要であることに気付けるようにする。

(2) 留学生との交流の場の設定

10月に留学生と交流会を行った。その時には、日本の伝統的な遊びを紹介したり、一緒に遊んだりした。最初に自己紹介を行ったが、留学生が豊島区で勉強をしていること、何人かは豊島区に住んでいること、多くの留学生が豊島区が大好きなことを知った。(I study at ○○university in Toshima-ku./I live in Toshima-ku./ I love Toshima.)そのような経験や豊島区に外国の方の人口が増えていることを学習したことから、今度は豊島区の歴史や魅力について留学生に教えてあげたいという声があがった。今回は、社会科の学習の中での活動でもあり、流暢な英語で説明することを目的としない。まだ語彙が少ないので、今までに学習したりすでに知っている単語を活用したりして、ジェスチャーも用いて豊島区について発表していく。

(3) 他教科での育成

教科	単元名等	取組	成果
総合的な学習の時間	地域安全マップを作ろう	自分たちが住んでいる地域の安全な場所や危険な場所を調べ、グループごとにスライドでまとめた。1年生に向けて発表会を行った。	1年生に分かりやすく伝えるためにどのような資料を提示し、どのように説明すると伝わるか考えた。相手意識をもって発表することができた。
特別の教科 道徳	相互理解 国際理解	話し合い活動を行い、自分の考えを発表するだけでなく、相手の考えとの共通点や相違点について考えた。	個々で様々な考えをもっていること、自分の考えを押し通すのではなく、相手の考えも受け入れようとする気持ちが大切だと学んだ。世界の洋服や食事についても知り、様々な文化があることを理解することができた。

5 外国語科支援員と連携について

(1) 授業に向けて

コミュニケーションを図る上では、言葉だけでなくジェスチャーやリアクションも大切であるということを、外国語活動の授業の中で指導する。まだ外国語活動を学習して間もないため語彙も少ないが、知っている言葉を

組み合わせたり、ジェスチャーやリアクションを活用したりすることで、コミュニケーションが図れることを実感できるようにする。

(2) 授業の中で

第12時に外国語科支援員が授業に入る。その際、児童が実際に決めたテーマや説明する内容について、助言する。豊島区のよさを伝えることで、留学生とのコミュニケーションを楽しめるよう、第13時の授業では外国語科支援員からの助言や指導を受けて説明の仕方を再考・修正していく。

6 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①交通や公共施設、土地利用や人口の変化、生活の道具などの時期の違いに着目して、区の人々の生活の様子は、時間の経過に伴い、移り変わってきたことを理解している。 ②区の様子の移り変わりについてタブレットで調べたり、地図や写真などの資料で調べたりして、年表やポスターなどにまとめている。	①交通や公共施設、土地利用や人口の変化、生活の道具などの時期の違いに着目して問いを見だし、区や人々の生活の様子の変化の傾向を考え、表現している。 ②区の高齢化、国際化等の課題を把握し、区の将来の姿について考えたり、表現したりしている。 ③豊島区の歴史や魅力について、既習事項をもとに紹介することができる。	①区の様子の移り変わりについて、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。 ②学習したことを基に、区の発展に関心をもち、区の将来の姿について進んで考えようとしている。

7 単元の指導計画(全14時間)

時	目標◆ 【活動】 ・ 児童の発言	◎評価【観点】(方法) *指導上の留意点
1	◆昔と今では、まちの様子が違うことや、まちの様子の変化の傾向を考えることができる。 【副読本の地図や写真などの資料を読み取り、今と違う場所や、変化したことを話し合う】 ・着ているものが違う。 ・建物も変化している。	*共通点や相違点を資料から読み取らせる。 ◎区の様子の移り変わりについて、タブレットで調べたり、地図や写真などの資料で調べたりしている。 【知・技】(観察)
2	◆豊島区の昔と現在の写真を比べ、時間の経過に伴って、様子が変化したことを理解することができる。 【豊島区の写真を比較して、変化したことを話し合う】 ・昭和のはじめごろは、建物がたくさんある。 ・都電のようなものも走っている。	*時代ごとに写真を比較して気付いたことを発表させる。 ◎時間の経過につれて、豊島区の様子が変化したことを理解している。 【知・技】(ノート)
3	◆豊島区の写真と地図を基に、調べることを出し合い、学習問題をつくることができる。 【豊島区の様子の変化について、疑問に思ったことを道路や土地の使われ方、公共施設、区の様子、家庭の暮らし等の視点で分類する】	*児童の言葉をつなげて、学習問題をつくるようにする。 ◎区の様子の移り変わりについて、予想をし

	・道路が今よりも広いように感じる。 ・高い建物はなさそうだ。 【学習問題をつくる】 【学習問題】 豊島区の様子や人びとのくらしはどのよう にうつり変わってきたのだろう。	たり、学習計画を立てたりしている。 【主】(ノート)
4	◆豊島区の交通の様子が変化してきたことを理解することができる。 【昔と今の交通道路図を比較して、交通が発達した様子を調べる】 ・1931年は、今よりも電車の数は少ない。 ・今は、地下鉄の数が増えている。	*1931年と1967年と今の写真を比較して気付いたことを発表させる。 ◎交通の時期の違いに着目して問いを見だし、区や人々の生活の様子の変化の傾向を理解している。 【知・技】(ノート)
5	◆豊島区の土地の使われ方が変化してきたことを理解することができる。 【昔の土地利用図と今の土地利用図を色分けする】 【色の違いに着目し、土地の使われ方の変化を調べる】 ・1937年頃は、豊島区の西の方に畑があった。 ・どうして焼け跡があるのだろう。 ・1957年頃になると、すべて市街地になっている。	*1937年と1945年と1957年の写真を比較して気付いたことを発表させる。 ◎区の人々の生活の様子は時間の経過に伴い、移り変わってきたことを理解している。 【知・技】(ノート)
6	◆豊島区にはどのような公共施設が建設されてきたかを理解することができる。 【豊島区にどのような公共施設が建設されてきたかを調べる】 ・中央図書館はいつごろできたのだろう。 ・豊島図書館は建て替えられたんだよね。	◎公共施設の違いに着目して、区の人々の生活の様子は時間の経過に伴い、移り変わってきたことを理解している。 【知・技】(ノート)
7	◆豊島区の公共施設の種類や数の変化を年表にまとめ、人々の生活の変化について自分の考えをもつことができる。 【公共施設の種類や数の変化を年表にまとめる】 ・1932年に豊島区ができたんだね。 ・徐々に色々な公共施設が建設されたんだね。 【公共施設の変化によって、人々の生活にどのような変化が起こったかについて、自分の考えを書く】 ・人々が便利に生活することができるようにしたのかな。	*年表を基に学習を進めるようにする。 ◎公共施設が建てられた時期の違いに着目して、区や人々の生活の様子の変化の傾向を考え、表現している。【思・判・表】(ノート)
8	◆豊島区の人口の変化について、豊島区のできごとと比較しながら調べ、豊島区の人口が増えたり減ったりしてきたことを理解することができる。 【年表のできごとと人口のグラフを比較して、区の人口が増えたり減ったりしたきっかけについて話し合う】 ・昭和20年から30年の間に人口が一気に増加した。 ・平成7年からまた人口が増加している。	*人口の増減にはどのようなことが関係しているか考えさせる。 ◎区や人々の生活の様子の変化の傾向を理解している。 【知・技】(ノート)
9	◆道具の変化について具体物で調べたり、調査をしたりしてわかったことをまとめることができる。 【昔の道具を調べ、当時の道具について理解する】 ・洗濯は洗濯板を使っていたんだね。 ・前は炊飯器がなかったんだ。 【道具を使っていた頃の人話を聞く】 【現在の道具と比較して、生活がどのように変化したかについてまとめる】	*実物を触ることはできないため、タブレットで見せるなどして具体的なイメージをもたせるようにする。 ◎生活の道具の違いに着目して、区の人々の生活の様子は時間の経過に伴い、移り変わってきたことを理解している。

	・色々な道具が発達して生活が便利になっていったんだね。	【知・技】(ノート)
10	◆年表を振り返ることを通して、時期ごとの変化について自分の考えをもつことができる。	
	【年表を振り返り、豊島区の様子が変わったきっかけやできごとをまとめる】 【できごと同士のつながりを考え、豊島区の様子の変化について、自分の考えをまとめる】	◎学習を振り返り、学習問題を追究し、解決しようとしている。 【主】(ノート)
11	◆豊島区の現在の課題や、課題に対する施策や取り組みを理解することができる。	
	【区の現状や、区の施策や豊島区内で行われている取り組みを調べる】 ・少子高齢化 ・国際化 ・環境問題	*具体的な課題を提示し、その解決に向けて区がどのような取り組みをしているか、タブレットで調べる。 ◎区の将来に向けた取組について調べることができる。 【知・技】(観察・ノート)
12	◆今までの学習で学んだことから、留学生に紹介したいことを選び、説明の仕方を考えることができる。	
13	【今までの学習を想起する】 ・豊島区の公共施設、店、土地の使われ方、区役所、古くから残る建物、名所等 【学習した内容の中から、グループごとに紹介したいテーマを決める】 【グループごとに説明の仕方を考える】	<外国語科支援員あり> *外国語科支援員と連携しながら、学習に取り組めるようにする。テーマや説明の仕方について助言してもらう。 ◎今までに学習した内容の中からテーマを選び、留学生に伝わりやすい説明の仕方を考えている。 【思・判・表】(ノート)
14 本 時	◆豊島区の歴史や魅力について、既習事項をもとに紹介することができる。	
	【自己紹介】 ・My name is～. I like～. I like～. I like～. Nice to meet you. 【豊島区についての紹介】	*留学生あり *児童は所定の位置に立ち、留学生がポイントを回ってもらうようにする。 ◎留学生に向けて、発表の仕方を工夫して自分たちのテーマについて紹介している。 【思・判・表】(観察・発言)

8 本時の指導(14/14)

(1) 目標 豊島区の歴史や魅力について、既習事項をもとに紹介することができる。

(2) 展開

学習活動	指導者の主な動き	◎評価・留意点
------	----------	---------

1 導入 ○めあてを確認する。		
留学生に豊島区について紹介しよう。		
○挨拶をする。 ○自己紹介をする。		・自己紹介の時に、既習事項を活用して好きなものも合わせて紹介する。 My name is～. I like～.
2 展開 ○本時の学習の説明をする。 ○所定のポイントに移動する。 ○ポイントに来た留学生に豊島区について説明する。 (テーマ例) ・豊島区の交通 ・豊島区の店 ・豊島区の土地の使われ方 ・豊島区の名所 等	T1: 児童に説明をする。 T2: 留学生に説明をする。 T3: 留学生にポイントカードを配布する。 ・指導者はポイントを回り、児童に助言をしたり支援をしたりする。 ・留学生にも声をかけ、スムーズにポイントを回ることができるようにする。	・準備がスムーズにできていないグループには個別に声かけをする。 ・写真や資料等を活用して発表させる。 ◎留学生に向けて、発表の仕方を工夫して自分たちのテーマについて紹介している。(観察・発言)
3 まとめ ○振り返りをする。 ○あいさつをする。	・児童のよかったところをほめる。 ・代表の児童に振り返りを発表させる。	・これまでの学習や留学生への発表を通して、豊島区についての理解を深め、今後の発展について考えることができたか考えさせる。
【目指す児童の振り返り】 学習を通して、豊島区の様子が変わってきたことが分かった。時代が変わっていく中で、外国の方がたくさん住むようになったことも知った。これからは、様々な人が豊島区に住みたいと思えるような街になるよう、できることを考えていきたい。		